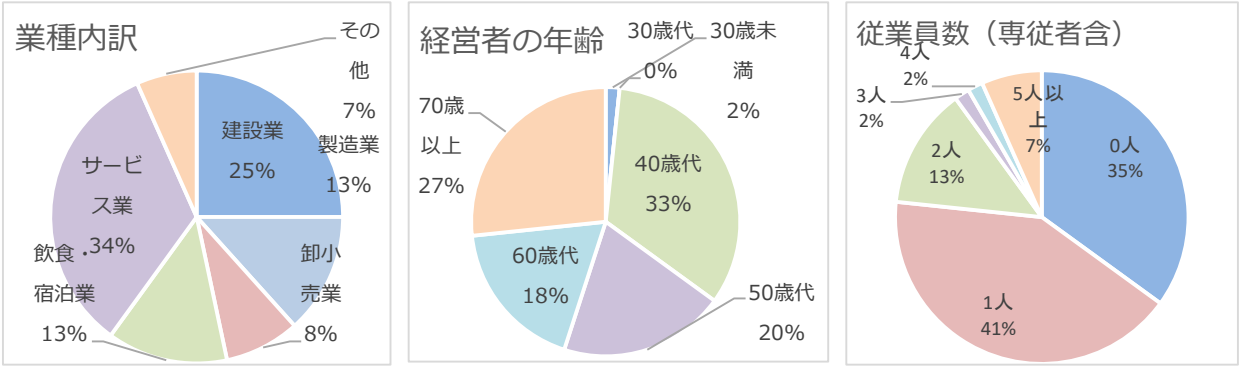


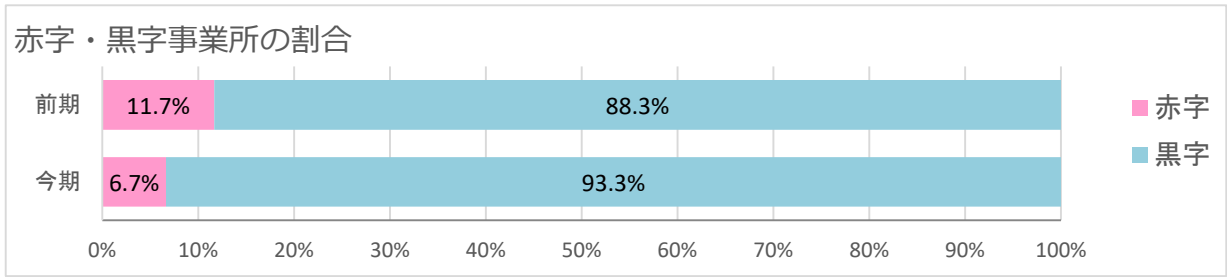
藤岡町商工会管内 景気動向調査報告書【2024年】

■ 回答者の属性



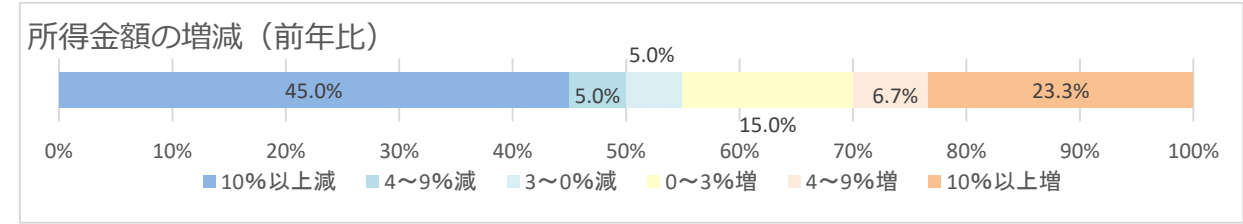
2025年1月～3月にかけて税務申告支援を行った60事業所（建設業15、製造業8、卸小売業5、飲食・宿泊業8、サービス業20、その他4）に対し調査を行った。

■ 赤字・黒字の割合



前期は黒字事業所が大部分を占め（88.3%）ており、今期は前期と同様程度の56事業所が黒字決算（93.3%）となった。

■ 所得金額の増減



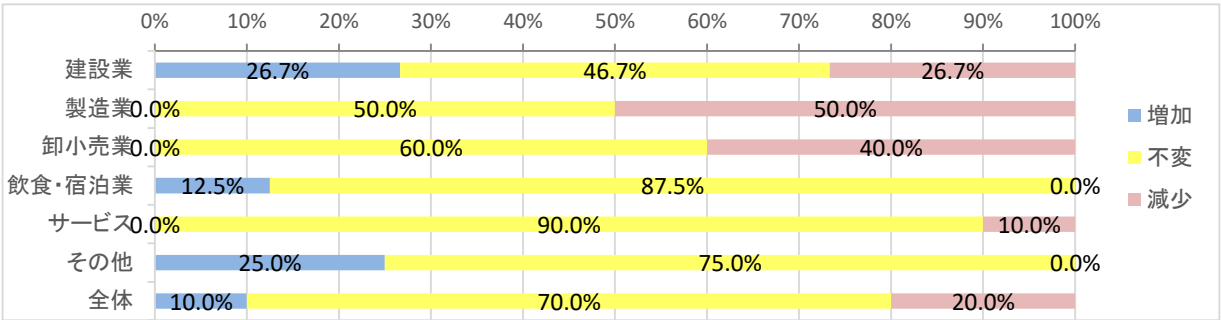
所得金額が増加した事業所は45.0%であり、10%以上増加した割合が増加の中では一番多かった。一方、減少している事業所は55.0%あり、その中でも10%以上減少した事業所が45.0%を占めている。

■ 最近の経営上の問題点

第1位	仕入価格の上昇	39
第2位	諸経費の増加	25
第3位	需要の停滞	12

『仕入価格の上昇』が最近の経営上の問題として第1位に挙げられており、昨今の世界情勢による物価高などの外的要因が経営を圧迫していることが窺える。

■ 今後（4～8月）の売上高の見込みについて



今後（4～8月）の売上高については、全体の90%が不変・減少を見込んでいて、10%が増加を見込んでいる。業種別にみると、特に製造業と卸売業の増加が0%となっており、一方で建設業の26%、飲食・宿泊業の12%が売上増加と回答している。

■ 今後の経営課題について

第1位	諸経費の増加	33
第2位	販路開拓	31
第3位	その他	14

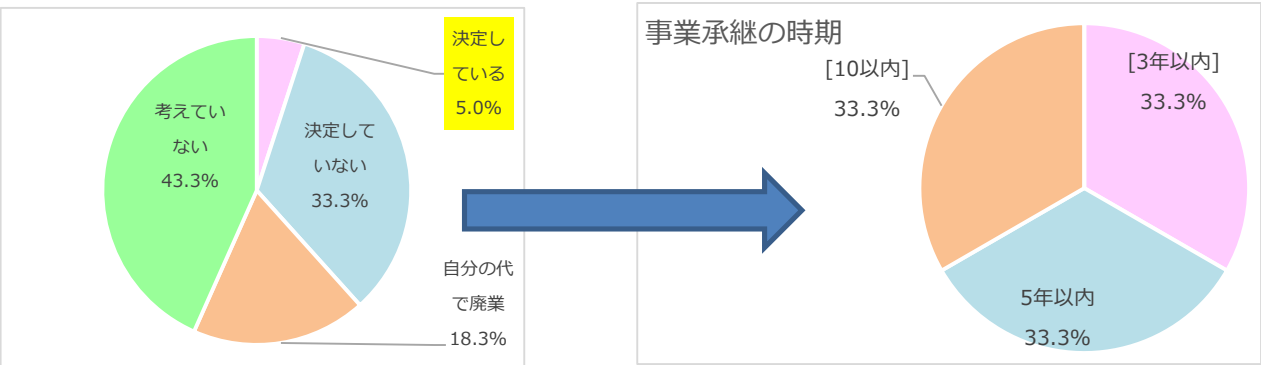
『諸経費の増加』が今後の経営課題として第1位に挙げられており、まんべんなく多くの業種の事業者で課題となっている。

■ 経営改題解決に向けた支援策について

第1位	補助金・助成金の申請	32
第2位	その他	24
第3位	販路開拓支援	19

今後の経営課題の解決に向けた商工会の支援策では『補助金・助成金の申請』が第1位となっており、第3位の『販路開拓』と繋がる支援を展開していく必要がある。

■ 後継者について



後継者について調査対象60者のうち、決定している事業者は3社（5%）しかおらず、今後、事業承継について積極的に推進していく必要がある。また後継者が決定していない事業所と考えていない事業所が76%を占めており、事業承継計画の策定が急務である。